

議会だよりの編集について

～伝える広報から伝わる広報～

広報広聴委員会
広報分科会

原・鈴木・渡辺・石田・熊澤・小栗

議会だよりの編集方針

1. 伝える広報から伝わる広報
2. 読みやすく、親しみやすい広報

“笑顔とふれあい”

議会だより



やまきた 第172号
平成25年2月1日



川村囃子山北保存会の子どもたち

目次

- 定例会（第4回） 2
- 委員会報告 3
- 審議結果 4
- 県外研修の報告 4
- 一般質問 5
- 来夢（こらむ） 14

再生紙を使用しています。

やまきた



議会だより 第177号
平成26年5月1日



新しい制服で輝く笑顔（山北中学校入学式）

目次

- 第5次総合計画 2大重点プロジェクトを優先に 2
(平成26年度当初予算81億円可決)
- 当初予算を審査（常任委員会報告） 6
- 一般質問 11
- 活きいきひろば 20

再生紙を使用しています。

平成24年第4回定例会（12月議会）

平成24年第4回例会が12月5日（土）の3日間開催されました。

議題は、条例の制定・改正8件、規則の改正1件、専決処分件、補正第6件、契約締結1件、規約変更1件、陳情1件および選挙1件を審議しました。

見出しでわかる内容

（左）平成25年4月 第110

（中）平成25年4月 第110

（右）平成25年4月 第110

平成25年2月 第176（2）

平成25年 第4回 定例会 町選挙公報発行条例



子育て世代の定住が期待される「サンライズやまぎた」

子育て世代に快適な 住宅を提供する

山北駅北側住宅促進住宅「サンライズやまぎた」の設置及び管理に関する条例案があり、総務課長は、

委員会に付され、審査は、郵送で、前日までには届くが、配布困難な場合などは、どのような場合か。

地方税法改正に伴う延滞金利率の見直し
地方税法の改正に伴い、育英奨学金貸与条例、後期高齢者医療に関する条例、介護保険条例、道路土庫徴収条例の延滞金の利率を見直すものです。

補正予算
一般会計は歳入歳出それぞれ2912万円を増額
歳入の主なもの、人事手当対象者の増による国庫支出金の1609万円、重

子育て支援の成果が
川村議員、出産祝金が増えたことに対して、町はこのように分析しているが、保険課課長、町が推進する子育て支援事業の成果により、第2子の出生が増えたものである。



（12月3日～12月5日） など15議案を可決

条例制定 次の町選挙から 選挙公報を配布

町選挙公報発行のための必要事項を定める条例案があり、本会議で審議の後、総務課長が委員に付託され、審議した。審議結果、審議委員は、5ページに掲載。佐藤議員、選挙公報の配布は、郵送で、前日までには届くが、配布困難な場合などは、どのような場合か。

総務課長、町広報と同様に、生かす事業を通じての配布を予定し、自治会未加入の方へは、郵送する。前日までには家庭に必ず届くようにする。困難と認められる特別な事情とは、災害により配布が困難な場合である。佐藤議員、広報でも致し方ないで聞いていることである。選挙公報の配布は、自治会にお願いのうえではなく、投票所を同じように郵送すべきではないか。

山北 たろう 山北たろう（山北たろう） 山北たろう（山北たろう）	選挙公報 平成25年10月1日発行 〇〇町選挙委員会
きたやま次郎 きたやま次郎（きたやま次郎） きたやま次郎（きたやま次郎）	選挙公報 平成25年10月1日発行 〇〇町選挙委員会
丹 さわこ 丹さわこ（丹さわこ） 丹さわこ（丹さわこ）	選挙公報 平成25年10月1日発行 〇〇町選挙委員会

選挙公報のイメージ

あなたの声を町政に

やまきた 議会だより

平成 25 年 11 月 No. 175 (14)

一
般
質
問

あなたの声を町政に!! 一般質問

一般質問は、議員が日常活動の中で、調査・研究してまとめた自分自身の考えや町民の声をもとに、町長に行政の執行状況や将来に対する政策方針等を問うものです。質問時間は、答弁を含め一人60分以内とし、一問一答方式で時間内であれば質問や答弁の回数に制限はありません。

議会だよりのスペースの都合で、質問と回答が要約してありますので、詳しい質問・回答の内容は、議会事務局までお問い合わせください。(☎75-3653)

ページ	質 問 事 項	質問議員
15	災害時における緊急飲料水対策について	渡 辺 良 孝
16	政策決定手順と町民周知について	小 栗 直 治
17	生涯学習活動のより一層の充実をはかるべき	瀬 戸 恵 津 子

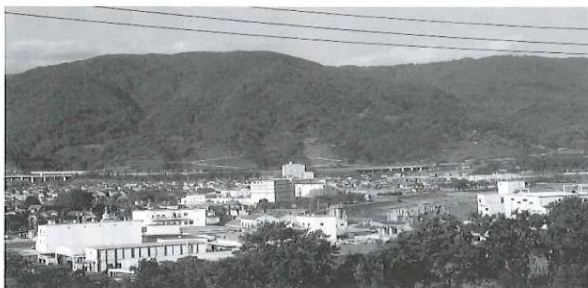
政策方針等を問う

問 災害時における緊急飲料水

答 企業に飲料水提供の協定をお願いする



〇〇〇〇議員



酒匂川沿いの企業

問 町内の企業に対して、災害時に飲料水提供の協定を結ぶべきでは。

当町では、今年度から地域防災計画を見直し、新たな防災行政を推進している。そこで、東日本大震災で、広域的な生活物資の供給に影響が広がったことを機に、飲み水は備蓄に頼らず、「足元」の地下水を有効的に活用する動きが進んでいる。水の豊かな当町であることから質問する。

答 岸地域周辺には水を大量に使う企業がある。その企業に対して、協定を締結していただくよう協議をしていく。

問 関東大震災の時、緊急飲料水にしたといわれている公の場所にある湧水を、災害時に対応できるよう、町が調査しておくべきでは。

答 飲料水になるか総体的に見て、災害時に備え最良の方法を検討していく。

問 町内で井戸を持つ個人に協力を呼びかけ、災害用井戸の登録制度の実施についてどうか。

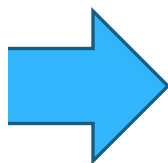
答 地形上孤立化する集落も点在している。広く呼びかけ、有事の際、一時的な飲料水の確保に向け、個人の井戸を対象に、災害時指定井戸の登録制度を検

町民のまちづくり

11月

- 1 県議長会なぎさブロック研修会
- 5 広聴分科会
- 6 全員協議会
- // 広報広聴委員会
- // 拡大議会のあり方検討委員会
- 14 第56回町村議会議長全国大会

議会活動報告



入道のゆるキャラ着ぐるみ、
なんておもしろいかな……。
これからも、
応援と見守り、
よろしく願っています。



門入道



三保中学校美術部デザインの「みほ弁」

地域限定弁当……「みほ弁」を製作したことで、地域に來られる観光客のみな様に山北の食材、三保の味を食べていただき好評を得ています。他と違うなにか……が大切なのだと思います。

老いも若きも仲がよい地域性から、活動にも手助けをたくさんいただき、会が発展しているのだと実感しています。さらなるアイデアは、門入道のゆるキャラ着ぐるみ、



佐藤 直美さん

地域で宝物さがし

地域で宝物さがし……たとえば、大切な風習だったり、見落とししてしまう地域の限定品だったり、そんな色々を私たちが掘り起こそうと「へろくり倶楽部」を進めています。

活きいきひろば